

みがくむきりひらく すぶ

府立井手やまぶき支援学校

学校だより

令和4年12月22日 No.4



「みがこうとする心、むすぼうとする心、きりひらこうとする心」

2学期 78 日の一番長い学期。コロナ禍は第 7 波があり、そして今第 8 波と言われる状況にある中で、校内は大きな流行はなく、その合間を縫うように、細心の注意を払いながら 10 月の中・高等部の修学旅行、11 月のやまぶき祭などを実施しました。こうした学校として初めての取組を代表として、取組・行事、授業に子どもたちは「みがき、むすび、きりひらい」てくれたと思います。

下にも書きましたが、忘れてならないのは保護者や地域の皆様に支えていただいて、“井手やまぶき”はあるということ。心から感謝申し上げます。1 学期の終業式には“ウクライナ”など世界の情勢にも少しだけ触れて子どもたちに話をしました。嫌な出来事も起こる世情ではありますが、子どもたちには「みがこうとする心、むすぼうとする心、きりひらこうとする心」を養っていける“井手やまぶき”であろうと思います。

来年は「卯年」。“卯れしい”一年になりますように。良い年をお迎えください。

校長 丸岡 恵真

感謝の気持ちを伝えました。

11 月 30 日(水)に竣工式が執り行われました。校舎が無事に竣工したことを祝い、協力していただいた方々に感謝の気持ちを伝えることができました。



たくさんの本の整備……学校を彩る花壇の整備……等、学校の整備に関わる業務のサポートは、「やまぶきサポーター」の方々に担っていただいています。

きれいで、整備された環境の中で、学ぶことができるのは、「やまぶきサポーター」の皆様のおかげです。ありがとうございます。「やまぶきサポーター」に参加していただくと、普段の学校生活を知っていただくこともできますよ。ぜひ、「やまぶきサポーター」に参加してください!!

地域と共に歩む「こまちサロン」の実施

地域の方々をお呼びして、音楽を聴かせていただいたり、読み聞かせをしていただいたりと、地域とむすぶ「こまちサロン」。芸術や文化と親しむことのできる貴重な機会にもなっています。時間より早く図書ラウンジに集まる姿が見られるようになり、子どもたちにとって「楽しみ」なサロンとなっているようです。

地域の方々とのふれあいの中で、子どもたちいつも以上に元気よく挨拶をしたり、適切な姿勢で質問をしたりと、日々の学習で学んだ社会的なスキルを発揮しています。今後も、子どもたちの知的好奇心をくすぐる、バラエティー豊かな内容で「こまちサロン」していきます。

こどもたちの命を守る！！防災教育の推進

本校には、子どもたちの命を守るために学校危機管理マニュアルとして「命を守る編」、「予防編」と 2 種類のマニュアルがあり、それをもとに、日々の安全確認や避難訓練等を実施しています。安全性の高い校舎、施設が児童生徒の安全を保障するのではなく、すべての指導者そして、子どもたちが安全意識を高めることが必要です。そのために、本校では子どもたちに「防災頭巾」の持参を奨励しています。御協力をよろしくお願いいたします。

学校への連絡は「がくぷり」メッセージ機能の活用を！！

がくぷりに便利な機能が追加されました。留守番電話対応の時間帯における緊急時は、「がくぷり」メッセージ機能を活用してください。その後、メッセージにて学校より返信させていただきますのでよろしくお願いいたします。

